

日本学術会議第一部 社会学委員会 ジェンダー研究分科会
(第24期・第1回)
議事要旨

日時： 平成30年2月3日(土) 10時00分～12時00分

場所： 東京大学本郷キャンパス教育学部棟2階第一会議室(文京区本郷7-3-1)

出席者(50音順, 敬称略)

井谷恵子、伊藤公雄、江原由美子、遠藤薫、大沢真理、落合恵美子、海妻径子、木本喜美子、高橋裕子、柘植あづみ、天童睦子、中谷文美、船橋恵子、本田由紀、宮崎恵子(以上、15名)

議題

1) 各委員の自己紹介

2) 前期委員長から分科会のこれまでの活動の紹介がなされた。関連して、男女共同参画推進連絡会(GEAHSS)(3月31日にシンポジウム開催)の情報提供がなされた。

3) 役員を選出(敬称略)

委員長 遠藤薫、副委員長 海妻径子、幹事 柘植あづみ、中谷文美

4) 今期の活動方針について

①シンポジウム「学術の再生産があぶない」に関連した『学術の動向』の特集を中心に、今期の活動について議論がなされた。

② 6月9日のシンポジウム「人間の安全保障とジェンダー——アジアの移民と人身取引問題(仮題)」について情報提供があった。

5) その他

① 意見交換

現在の大学が直面する諸課題についてとくにジェンダーの視点から種々の意見交換を行った。

② 次回の分科会について

4月の週末で日程照会を行うことになった。